

令和4年度 卒業年次生に対する学修成果達成度調査報告書

令和5年5月10日

別府大学短期大学部

短大企画運営会議

卒業年次生に対する学修成果達成度調査の実施について

短大企画運営会議

本学では平成30年に3ポリシーの見直しを実施しPDCAサイクルのシステムを確立した。このPDCAサイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通じた学修成果の達成度調査を実施する。

実施方法

調査対象

別府大学・別府大学短期大学部 卒年次生

調査期間

2023年1月10日～2月10日

調査内容

別紙

調査方法

moodleのアンケート機能により実施

webで一定期間実施し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導する。さらに成績発表、卒業式での回答を強く指導することで回答率95%以上をめざす)

別府大学短期大学部 卒業時アンケート内容

この調査は卒業される予定の学生の皆さんに大学での学修を振り返ってもらうことで、本学が定めた学位授与の方針（Diploma Policy：DP）の達成度を皆さん自身に評価してもらうものです。入学時からの自身の成長や、これからの社会生活で求められる能力を思い浮かべて回答してください。また、学生生活の様々な活動を振り返り、後輩や教職員への意見・感想もあわせて記入してください。

調査結果は本学の教育・研究の改善のために活用されます。

DPについて

1. 思考力、判断力、表現力などは身につきましたか。
2. 建学の精神をこれからの社会生活で実践しようと思えますか。
3. 独立した主体的な人間として判断や行動をとることができますか。
4. 人間の探究についての教養は身につきましたか。
5. 自然の摂理についての教養は身につきましたか。
6. 社会の文化についての教養は身につきましたか。
7. 情報リテラシーは身につきましたか。
8. 外国語リテラシーは身につきましたか。
9. 運動や健康維持・増進についての基本的なりテラシーは身につきましたか。
10. あなたが学んだ専門分野の知識や技術を生かして、社会でどのような役割を担うことが期待されているかを理解していますか。
11. 専門分野の知識や技術は身につきましたか。
12. 論理的に考え分析する能力は身につきましたか。
13. 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか。
14. 組織での活動においてリーダーシップを発揮する力は身につきましたか。
15. 他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか。
16. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。）
17. 場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。
18. 国内的・国際的な動向や問題に幅広い関心をもつ力は身につきましたか。
19. 図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか。

学生生活全体の振り返りと大学・後輩への意見

1. 在学中に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）
2. 成長できた、と思う経験を教えてください（自由記述）
3. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。
4. 大学で学んだことが進路において役立つと感じていますか。
5. 大学に期待すること（自由記述）
6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

卒業年次生に対する学修成果達成度調査 回答状況概要

回答率 99.2% (242/244) (2/10現在)

食物栄養科 100% (40/40)

初等教育科 98.9% (188/190)

専攻科初等教育専攻 100% (14/14)

卒業年次生に対する学修成果達成度調査結果の分析

各質問において、「かなり身についた」（5点）～「ほとんど身につかなかった」（1点）としたときの回答全体の平均点および回答分布から卒業年次生の学修成果達成度を確認した。各質問はDPと対応しており、調査結果をDP達成度の観点から分析した。（カッコ内の数値は過去3年分2021, 2020, 2019の結果）

ディプロマ・ポリシー

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

DP1(1)の評価

質問1「思考力、判断力、表現力などは身につきましたか。」

平均4.21 (4.10, 4.21, 4.23)

質問2「建学の精神をこれからの社会生活で実践しようと思えますか。」

平均4.00 (3.91, 4.12, 4.15)

質問3「独立した主体的な人間として判断や行動をとることができますか。」

平均4.15 (4.09, 4.10, 4.11)

※カッコ内の数値は昨年度結果

初年次教育の改善等の効果が現れ始めたためか、全ての項目で増加となった。特に独立した主体的な人間として判断や行動については、過去3年分の数値より上回った。自己評価結果は依然として高いものの、上位評価である「かなり身についた」「ある程度身についた」と回答する学生が全体の85%を超えていることから、DP1(1)「短期大学の教育に必要な知識・技能と思考力・判断力・表現力などの基礎的な素養を身につけ、建学の精神及び教育目的・教育目標等を理解している。」の達成状況は良好であると判断できる。

DP1(2)の評価

質問4「人間の探究についての教養は身につきましたか。」 平均4.07 (4.01, 4.15, 4.20)

質問5「自然の摂理についての教養は身につきましたか。」 平均3.91 (3.85, 3.98, 4.09)

質問6「社会の文化についての教養は身につきましたか。」 平均4.06 (3.90, 4.00, 4.09)

自然科学系の教養について課題が残るが、昨年と比較して増加を示す評価となっていることに加え、増加率も大きい。上位評価数は全体の80%と依然として高いことから、DP1(2)「人間の探究や自然の摂理、社会の文化などの基礎的教養を身につけている。」の達成状況は良好であると判断できる。

DP1(3)の評価

質問7「情報リテラシーは身につきましたか。」 平均4.03 (3.93, 4.08, 4.10)

質問8「外国語リテラシーは身につきましたか。」 平均3.46 (3.40, 3.46, 3.45)

昨年度より改善傾向を確認できるが、外国語リテラシーは4を下回っている。令和3年度より導入した英語の習熟度別クラスによるものと思われる数値改善も認められるが、引き続き改善が必要である。情報リテラシー及び外国語リテラシーを総合的に評価すれば上位評価数は

全体の66%であることから、DP1(3)「情報処理や外国語などの基本的なリテラシーを身につけている。」の達成状況は良好であると判断できる。

DP1(4)の評価

質問9「運動や健康維持・増進についての基本的なリテラシーは身につきましたか。」

平均4.07 (4.05, 4.18, 4.19)

健康に関するリテラシーについては0.02ポイント増加し、上位評価者割合が84%と高いことから、DP1(4)「運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能を身につけている。」の達成状況は良好であると判断できる。

ディプロマ・ポリシー

2. 専門力（専門に関する基本的な知識・技能）

DP2の評価

質問10「あなたが学んだ専門分野の知識や技術を生かして、社会でどのような役割を担うことが期待されているかを理解していますか。」

平均4.36 (4.20, 4.28, 4.28)

質問11「専門分野の知識や技術は身につきましたか。」

平均4.33 (4.16, 4.27, 4.25)

専門教育については極めて高い評価結果である。専門知識を生かした就職も堅調であり、上位評価者数の割合は94%とほとんどの学生が専門的知識・技能に自信を持っていることが分かる。以上のことからDP2<社会的意義>及びDP2<職業生活で評価される能力>の達成状況は良好であると判断できる。

ディプロマ・ポリシー

3. 汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）

DP3(1)思考力の評価

質問12「論理的に考え分析する能力は身につきましたか。」

平均4.06 (3.91, 4.08, 4.13)

質問13「常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか。」

平均4.15 (4.01, 4.16, 4.11)

初年次教育「基礎演習」等において使用している全学共通テキスト「クリティカルシンキング・ロジカルライティング」を活用し、論理的思考法や学習方法改善について複数授業に拡大する取り組みを行っており、徐々に効果が現れている。全体的に評価が改善し、上位評価者数の割合は87%（10ポイント向上）と高く、多くの学生が思考力の定着を実感できていることがわかる。全般的にDP3(1)思考力の達成状況は良好であると判断できる。

DP3(2)実行力の評価

質問14「組織での活動においてリーダーシップを発揮する力は身につきましたか。」

平均3.87 (3.90, 3.92, 3.96)

質問15「他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか。」

平均4.29 (4.20, 4.29, 4.23)

実行力についての評価は昨年に比べてやや低下したものの全体的に高く、上位評価者数の割合82%（2ポイント向上）と良好である。質問14の結果から、リーダーシップの発揮にはやや評価が低い傾向があり、下位評価者数の割合も6%に増えている（4ポイント増）。一方、他者との協調については大きく改善している。以上のことから、DP3(2)実行力の達成状況は良好であると判断できる。

DP3(3) 表現力の評価

質問16「自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」
平均3.98 (3.96, 4.00, 4.04)

質問17「場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」
平均4.20 (4.13, 4.25, 4.22)

表現力についての評価はどちらも上昇傾向となり評価も高い。特にコミュニケーション力については、上位評価者数の割合は90%（7ポイント向上）となっている。以上のことからDP3(3)表現力の達成状況は良好であると判断できる。

DP3(4) 情報力の評価

質問18「国内的・国際的な動向や問題に幅広い関心をもつ力は身につきましたか。」
平均3.82 (3.74, 3.80, 3.92)

質問19「図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか。」
平均3.91 (3.79, 3.84, 4.01)

情報力についての評価は低下傾向が2年間続いていたが改善した。世界情勢の大きな変化が日常生活にも影響を与えるようになり、さらに、さまざまな授業で関連するテーマが取り上げられたことが評価改善の理由として考えられる。情報収集については各授業におけるレポート課題等の実施状況調査や改善などの取組などの効果もあってか1ポイント以上の向上が見られた。以上のことから、DP3(4)情報力の達成状況は良好であると判断できる。

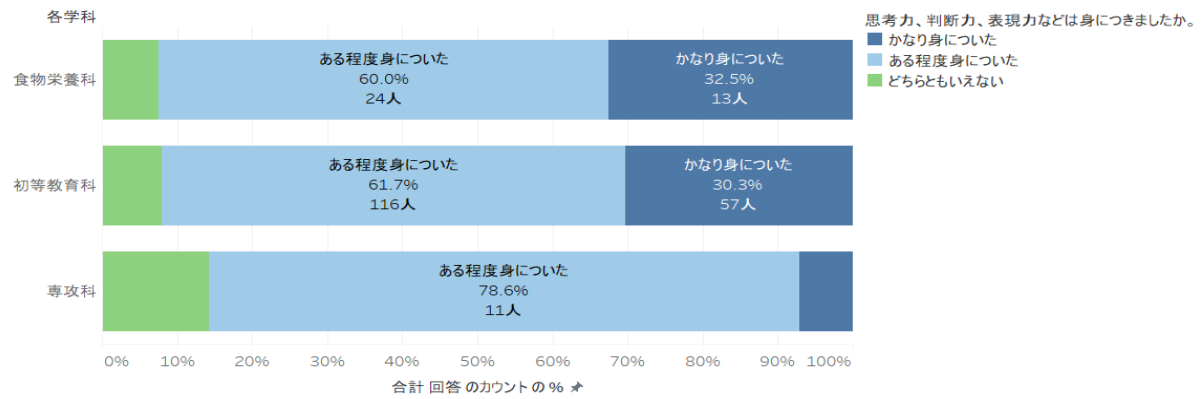
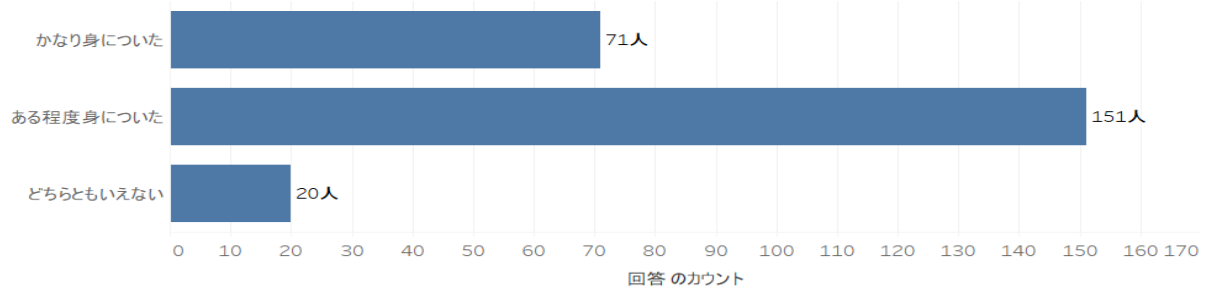
「大学全体の振り返りと大学・後輩への意見」

質問「在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと」で「大学の勉強」の回答数が例年通り最も多いことから、本学の学生が学業に真面目に取り組む傾向を維持できていることが確認できる。「在学中にじぶんが成長できたと感じる経験」において、専門知識・技術の向上や、グループワークや実習などの活動を通して人とのコミュニケーションに自信をつけた学生が多い。就職に対する調査では殆どの学生が希望に沿った進路であったことを回答していることから、コロナによる就職への影響は比較的小さかったことが分かる。「大学に期待すること」「卒業する学科に期待すること」では、施設設備の充実や、他学科・他学年との交流の充実などの要望が寄せられた。「後輩へのメッセージ」では、多くの学生が2年間という短い学生生活の間に大きく成長した実感を込めて「大変だけど頑張っほしい」と後輩の活躍に期待するコメントが多数寄せられている。これらのことから、本学の教育目標は依然として高いレベルで達成できていると判断できる。卒業予定者から寄せられたコメントを教職員・在学生で共有するとともに、指摘された課題については真摯に受け止めて改善に取り組みたい。

卒業年次生に対する学修成果達成度調査集計結果

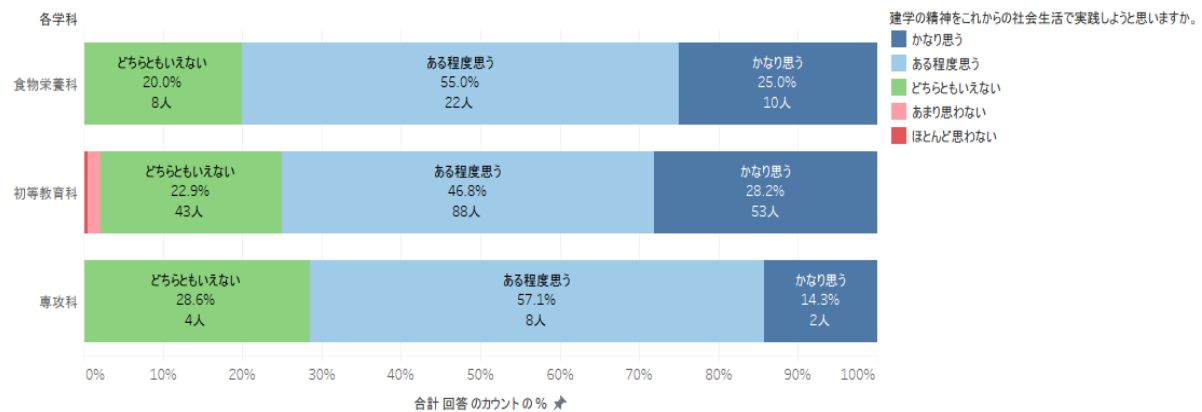
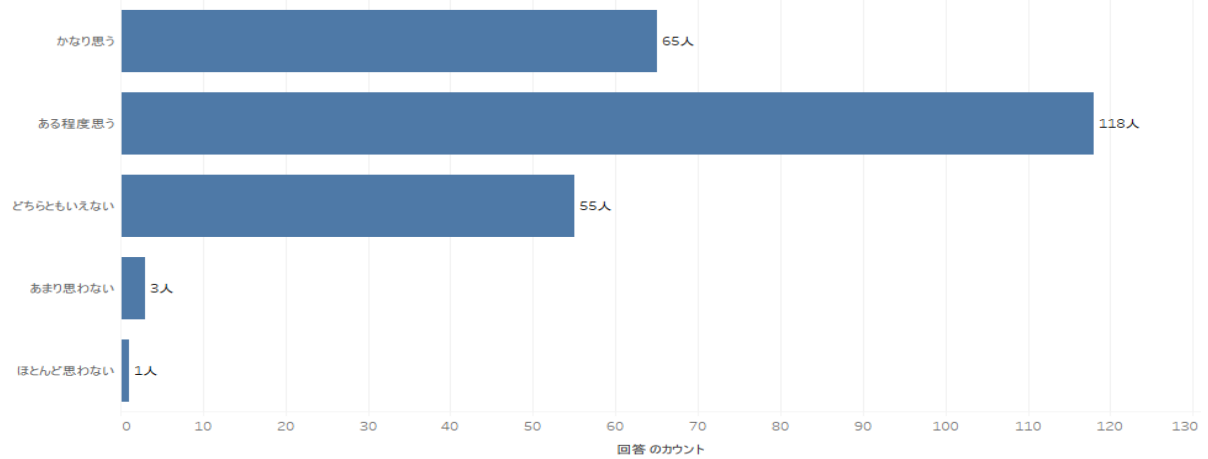
Q1. 思考力、判断力、表現力などは身につきましたか。(全学)

思考力、判断力、...

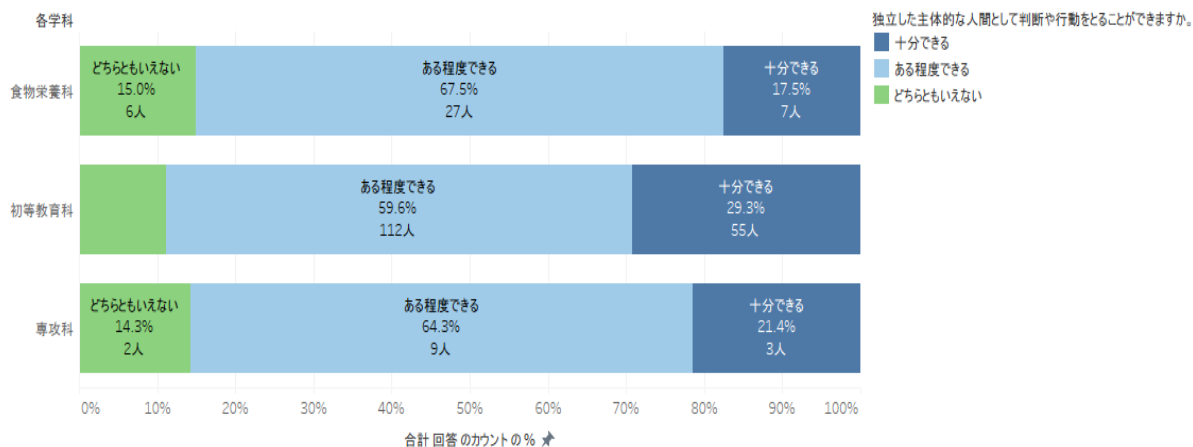
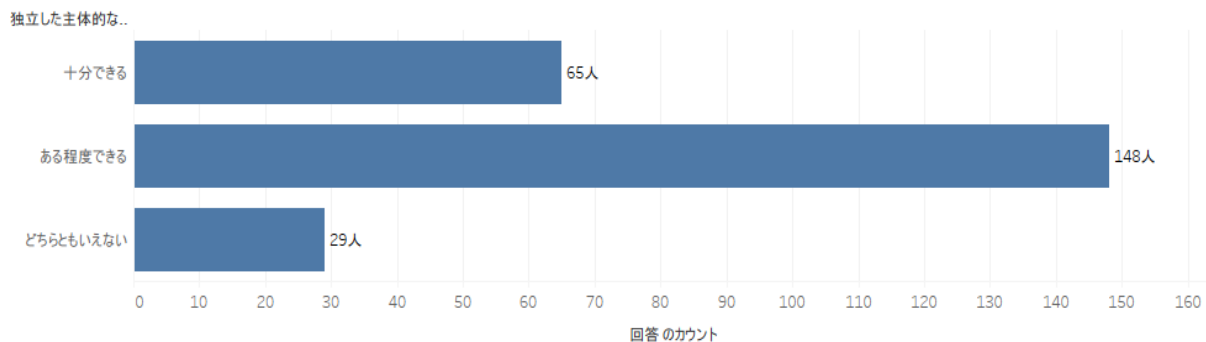


Q2. 建学の精神をこれからの社会生活で実践しようと思いませんか。(全学)

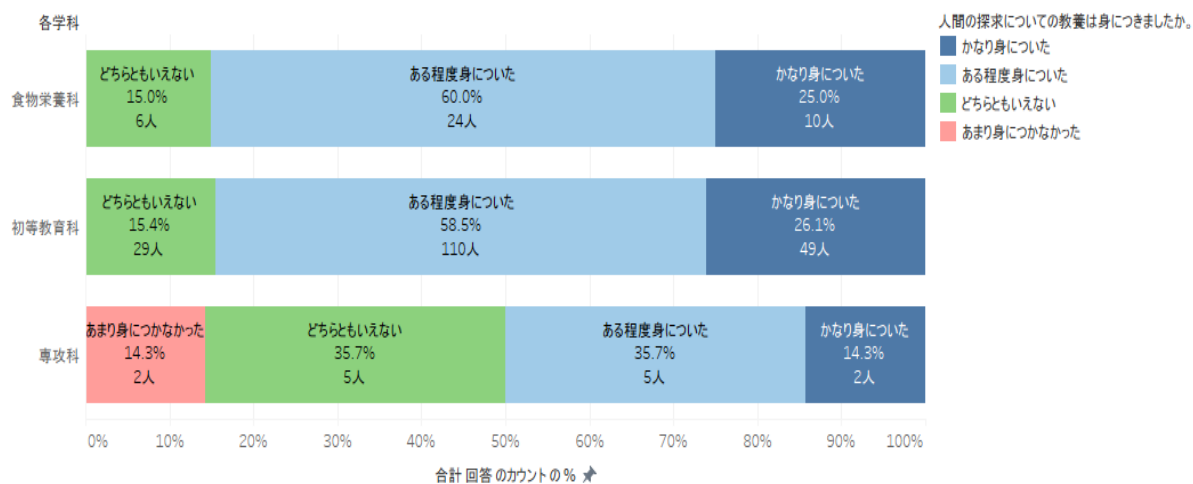
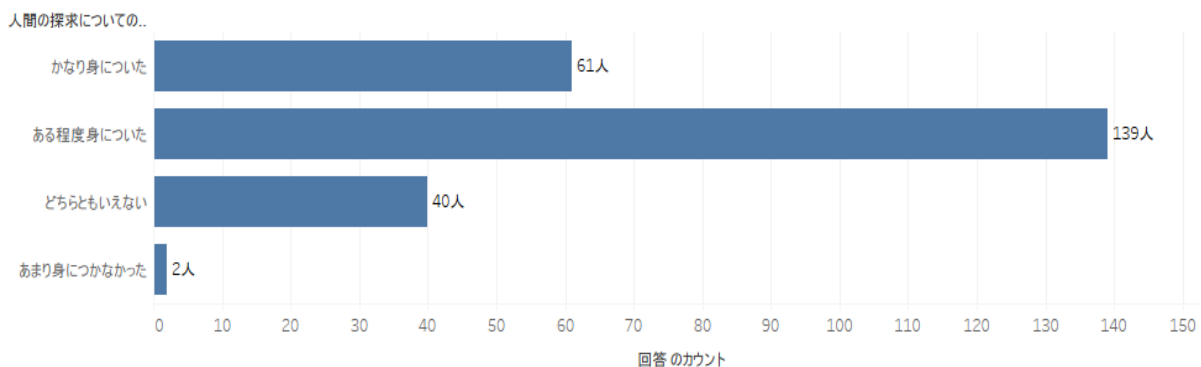
建学の精神をこれ..



Q3. 独立した主体的な人間として判断や行動をとることができますか。(全学)

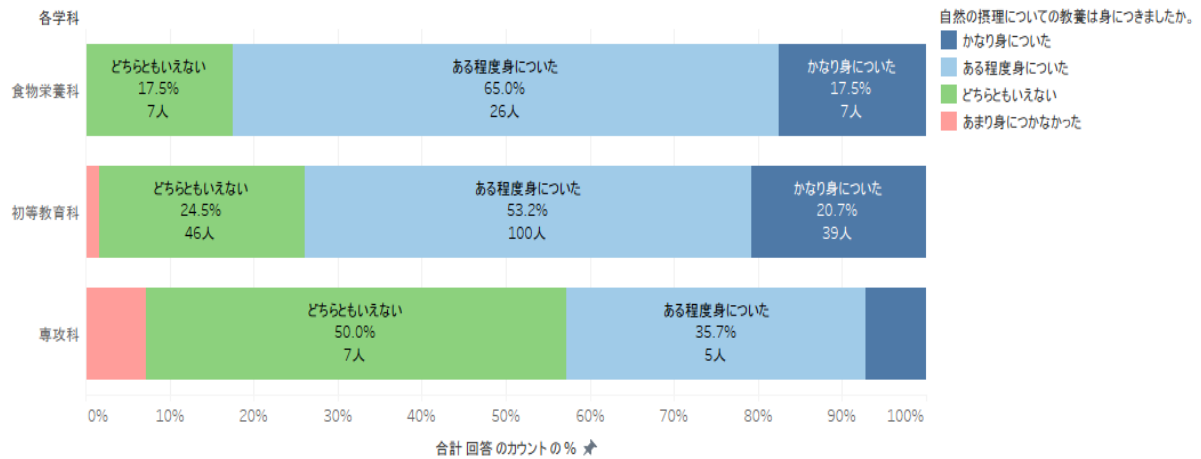
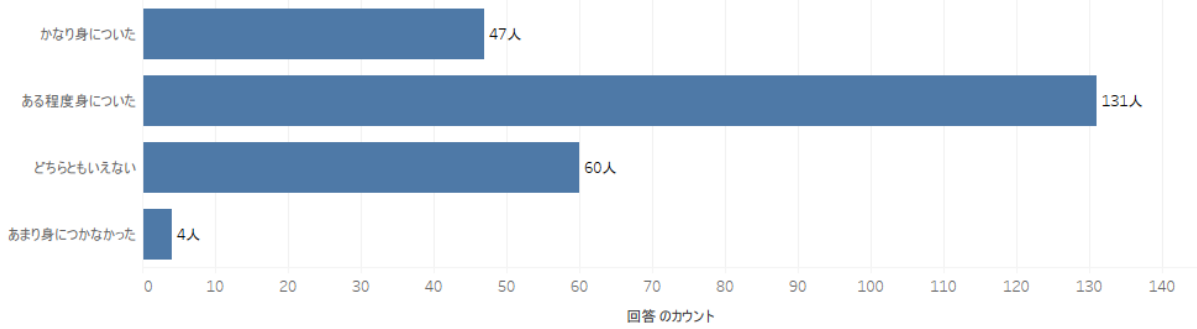


Q4. 人間の探求についての教養は身につきましたか。(全学)



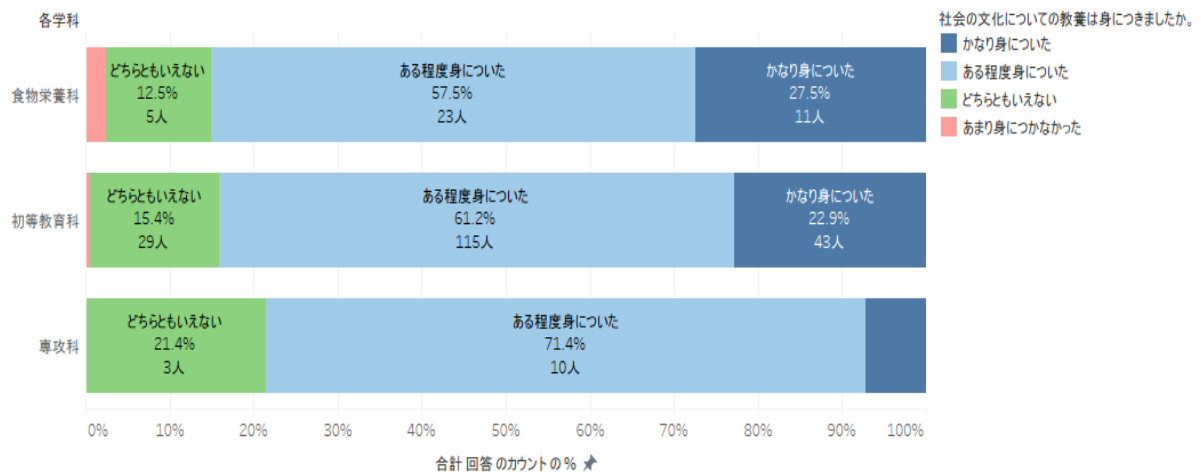
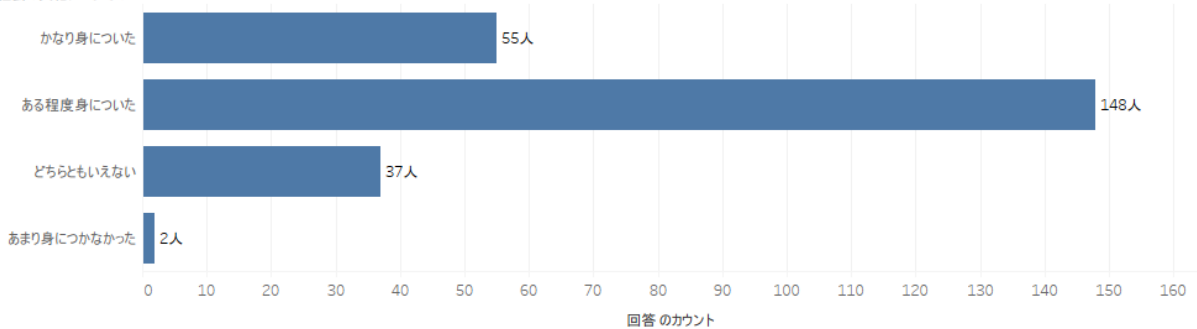
Q5. 自然の摂理についての教養は身につきましたか。(全学)

自然の摂理についての..

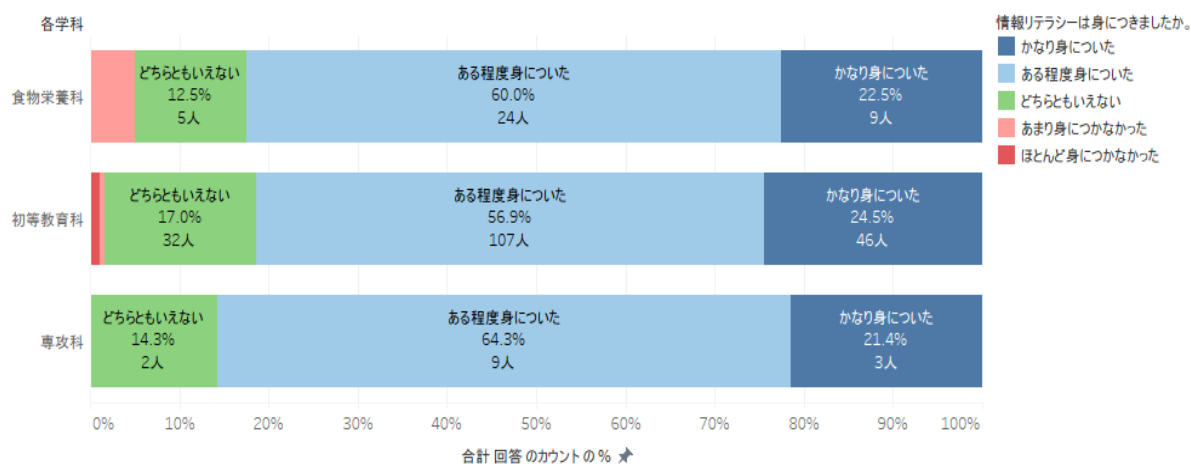
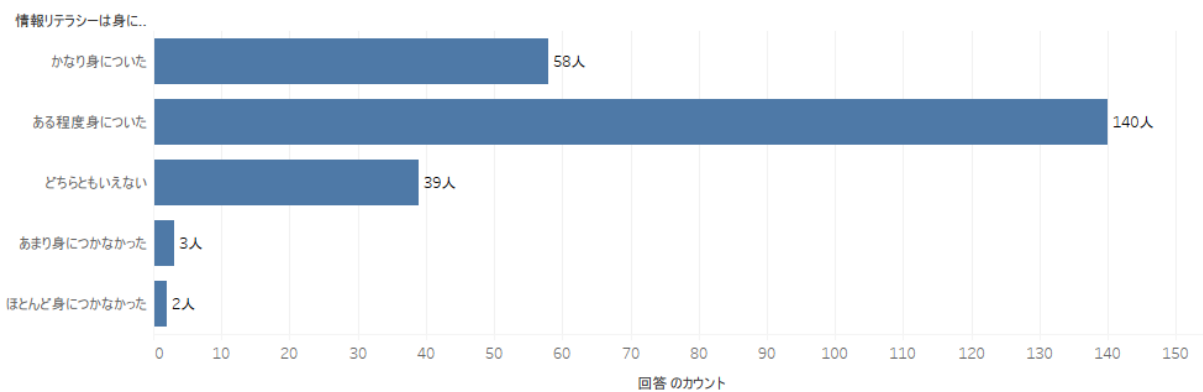


Q6. 社会の文化についての教養は身につきましたか。(全学)

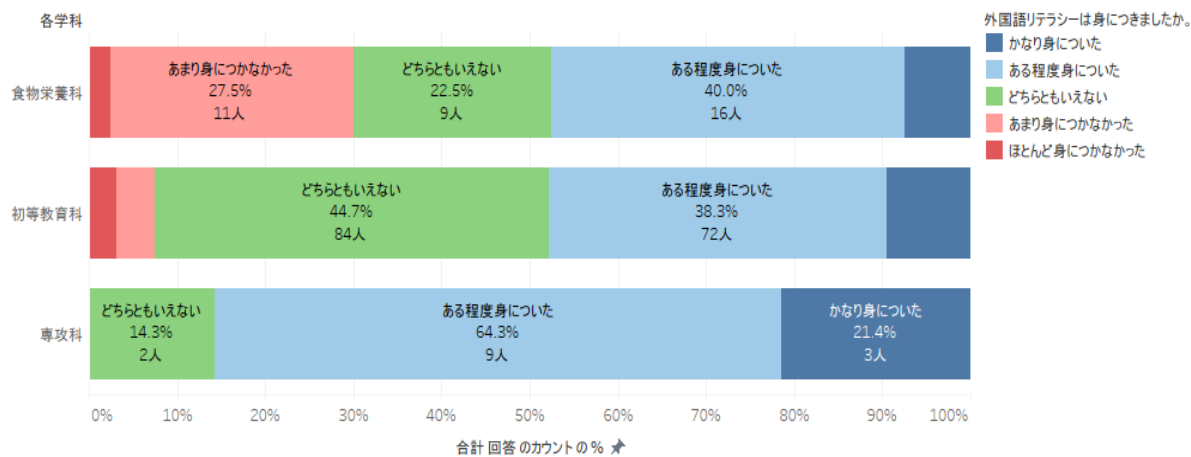
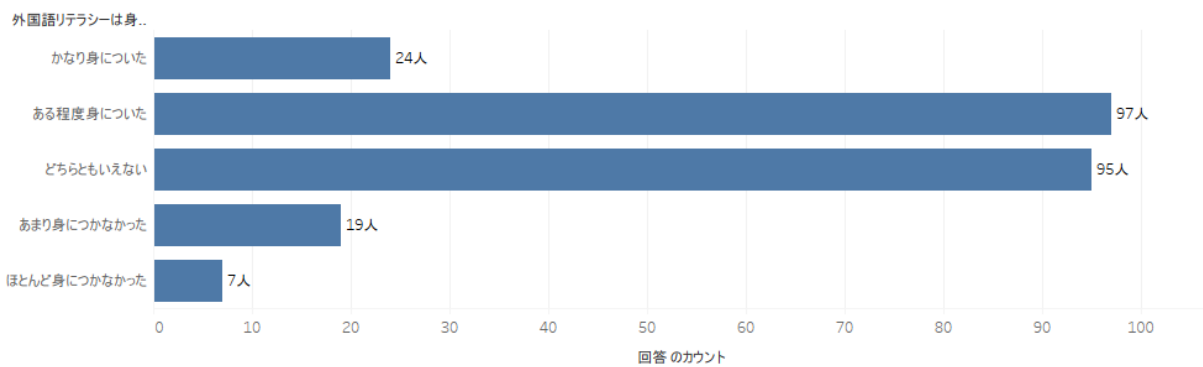
社会の文化についての..



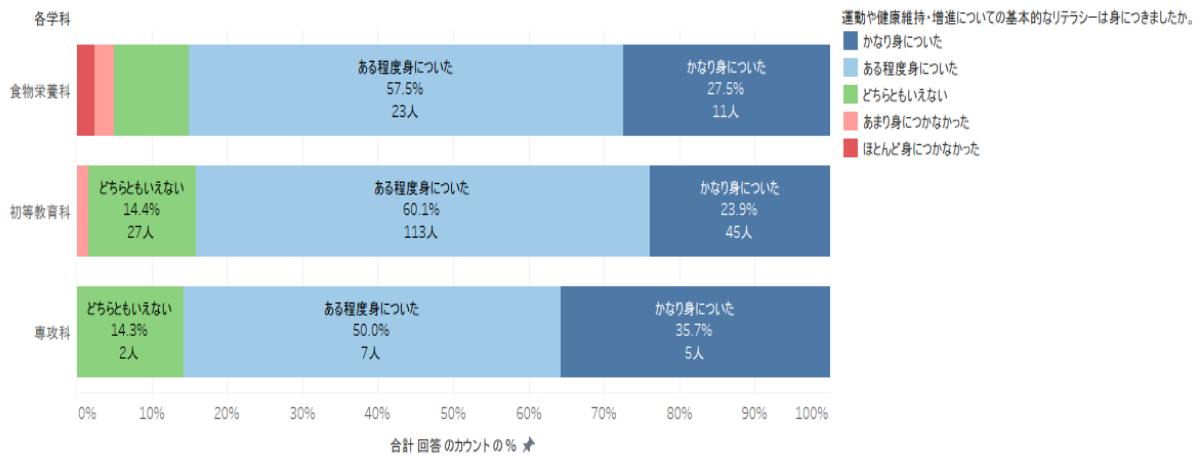
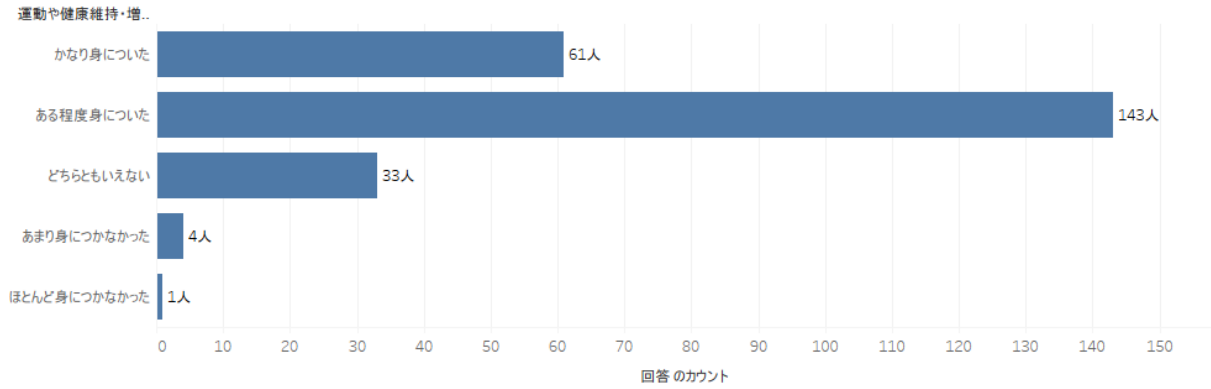
Q7. 情報リテラシーは身につきましたか。(全学)



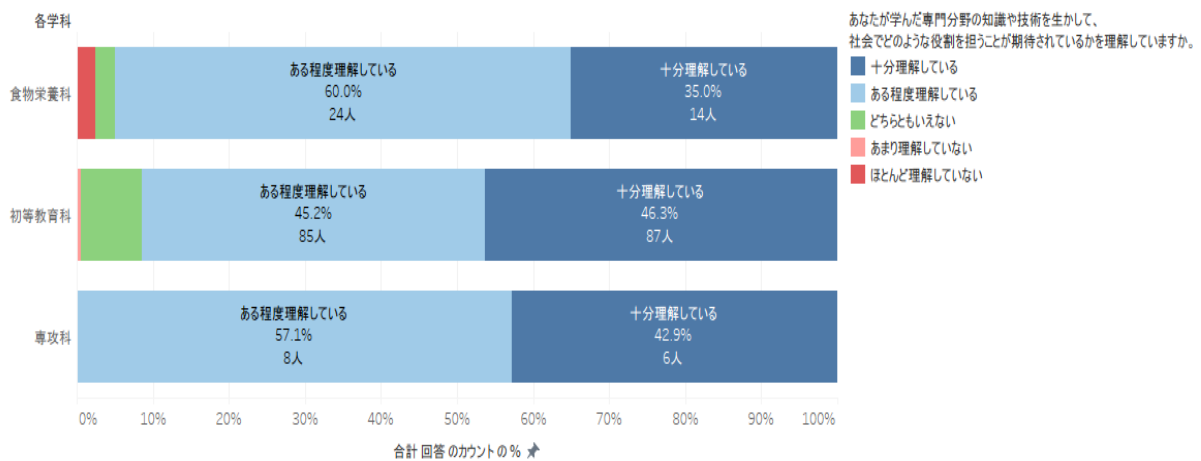
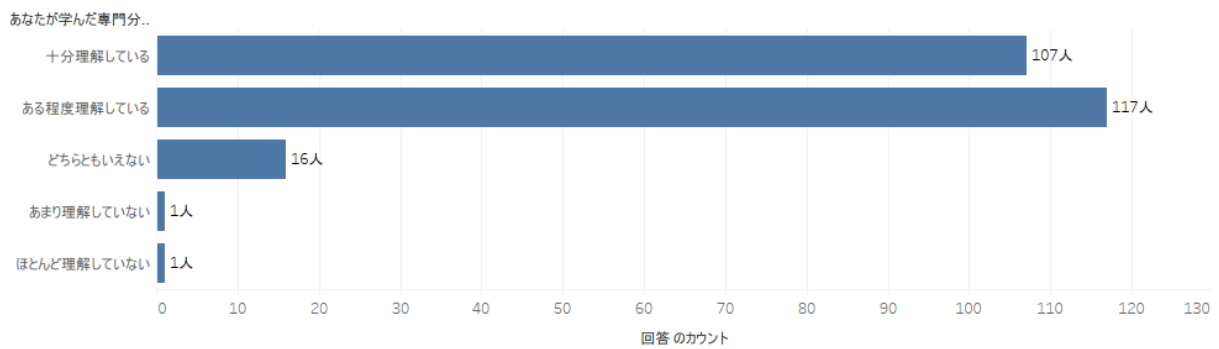
Q8. 外国語リテラシーは身につきましたか。(全学)



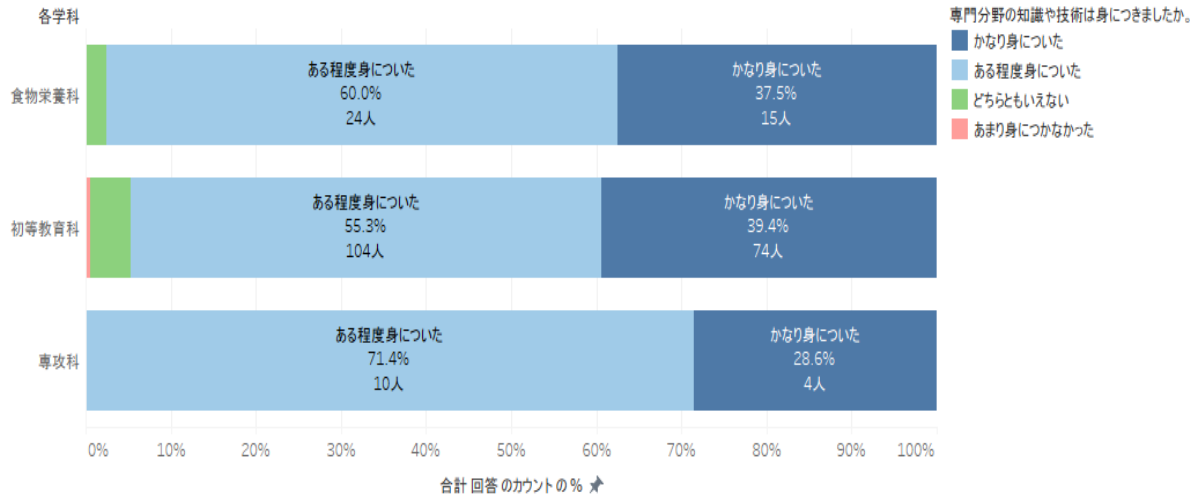
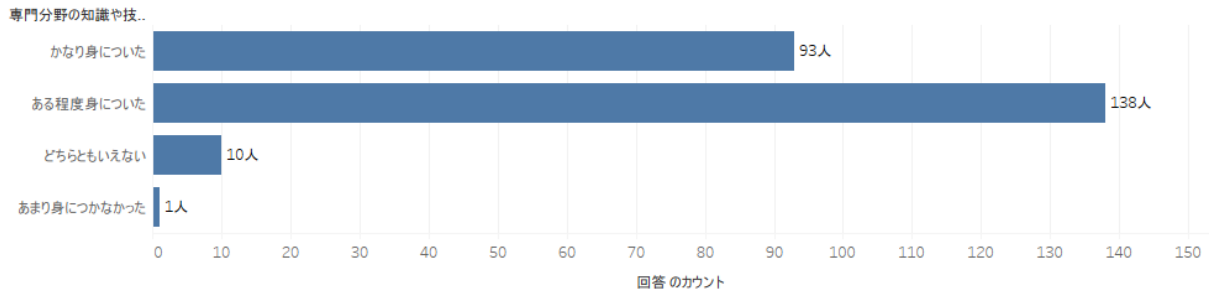
Q9. 運動や健康維持・増進についての基本的なリテラシーは身につきましたか。(全学)



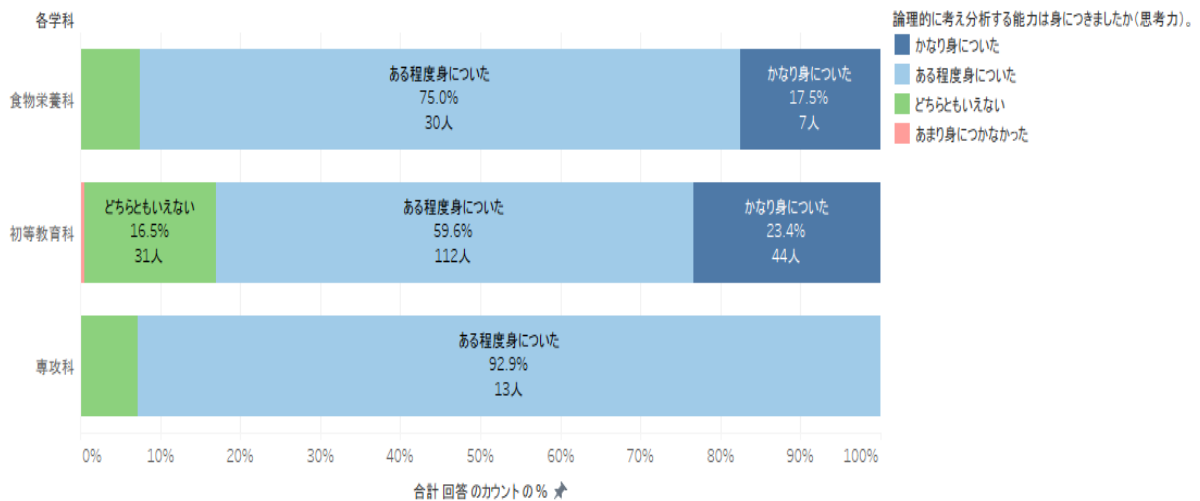
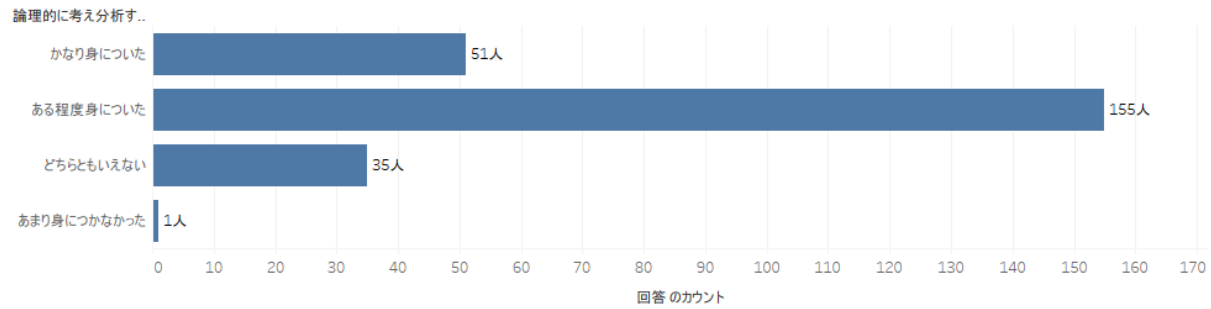
Q10. あなたが学んだ専門分野の知識や技術を生かして、社会でどのような役割を担うことが期待されているかを理解していますか。(全学)



Q11. 専門分野の知識や技術は身につきましたか。(全学)

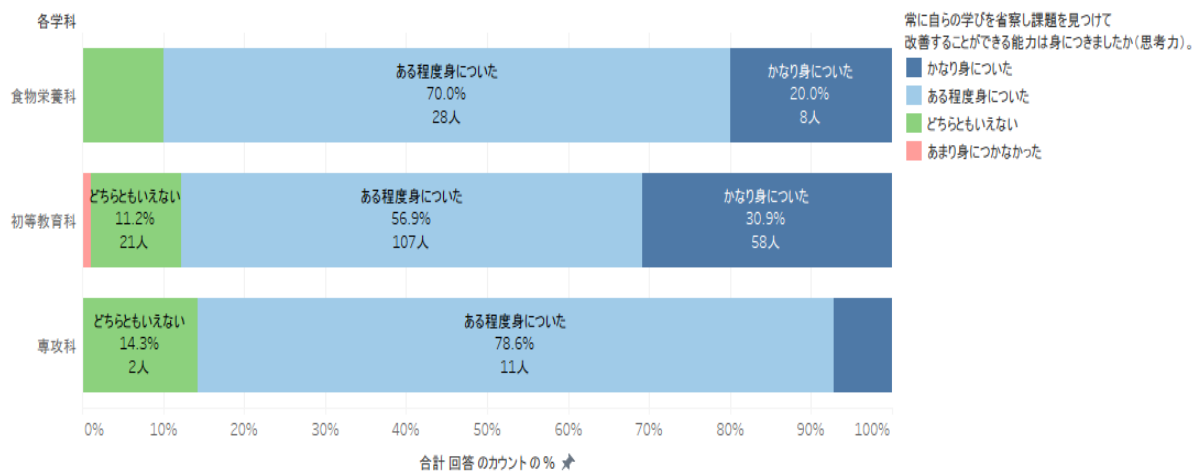
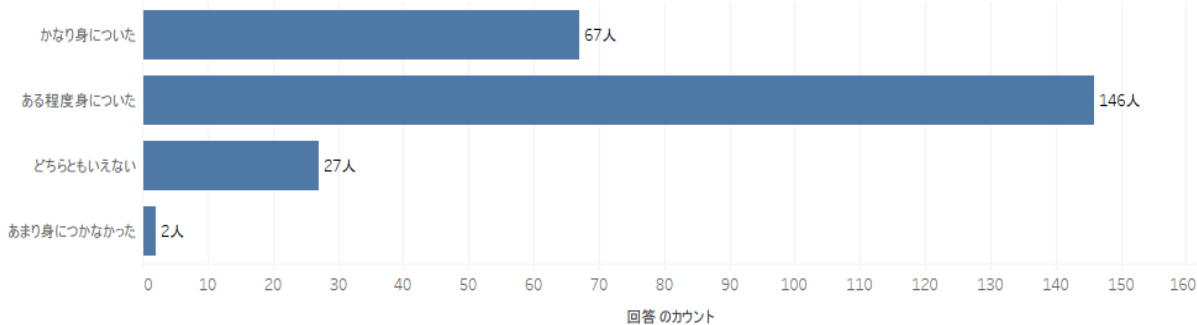


Q12. 論理的に考え分析する能力は身につきましたか。(全学)



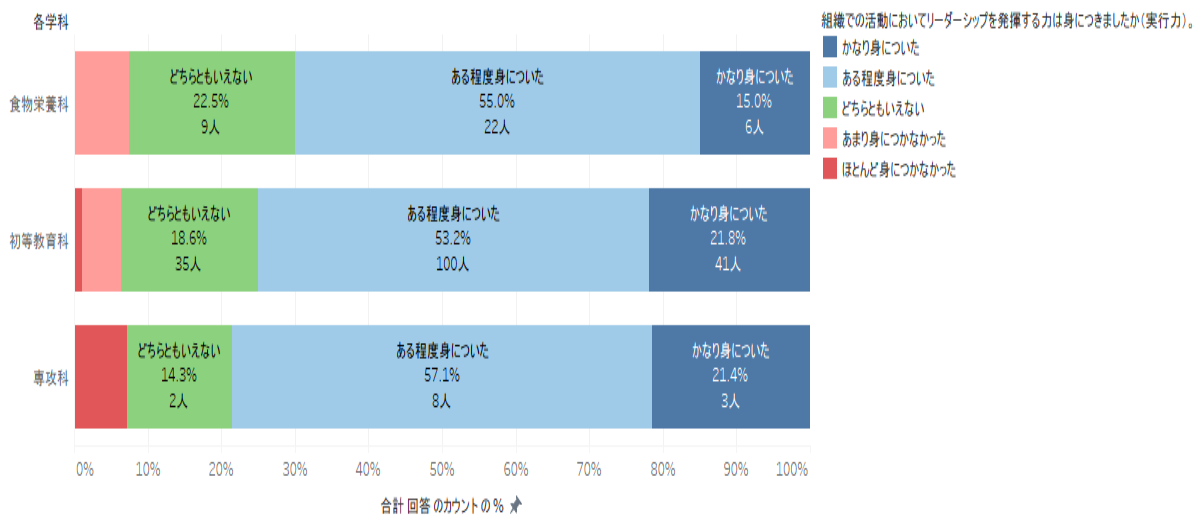
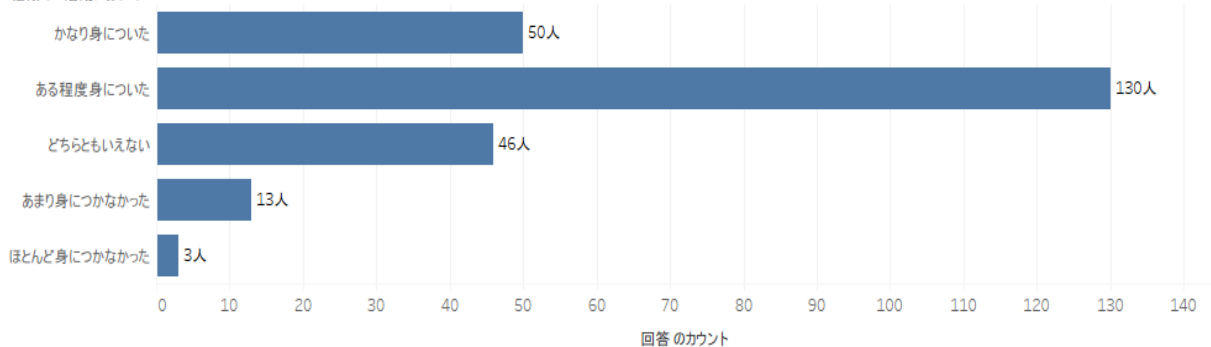
Q13. 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか。(全学)

常に自らの学びを省察..



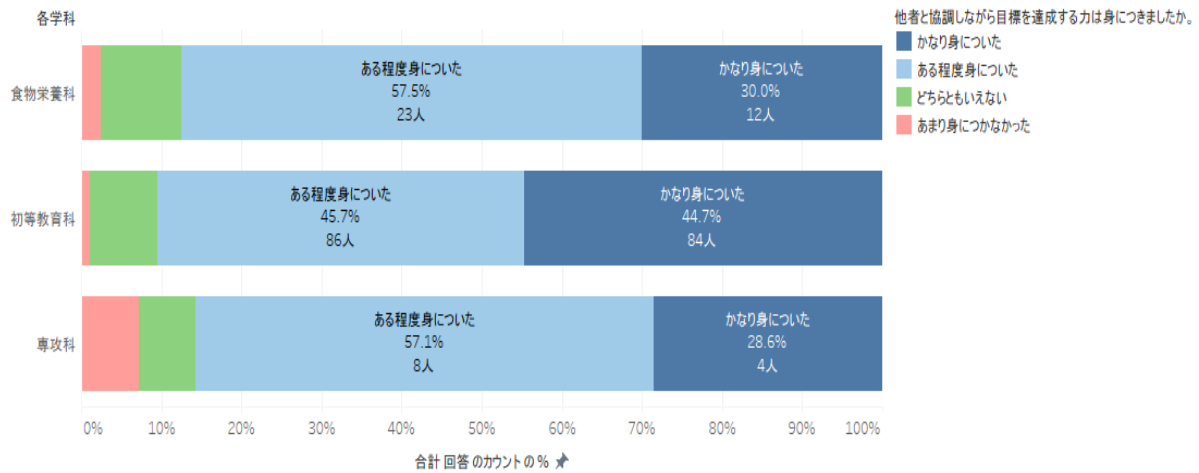
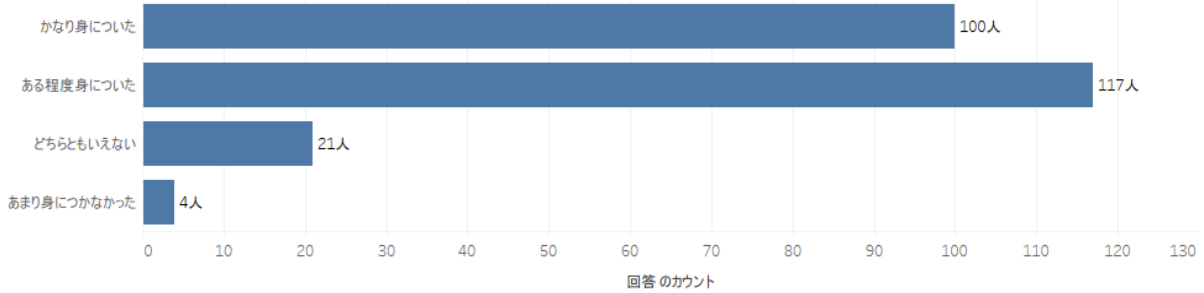
Q14. 組織での活動においてリーダーシップを発揮する力は身につきましたか。(全学)

組織での活動において..



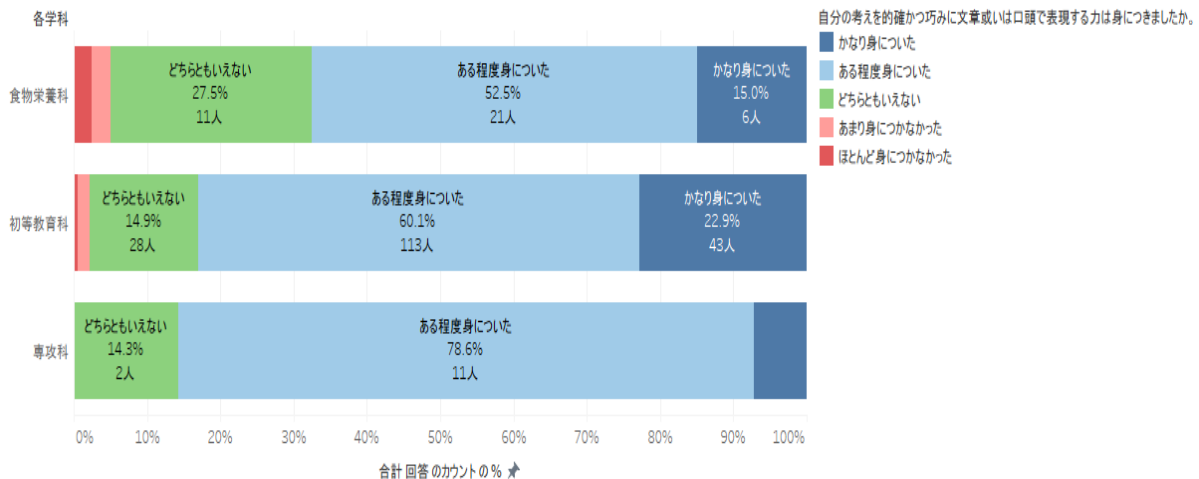
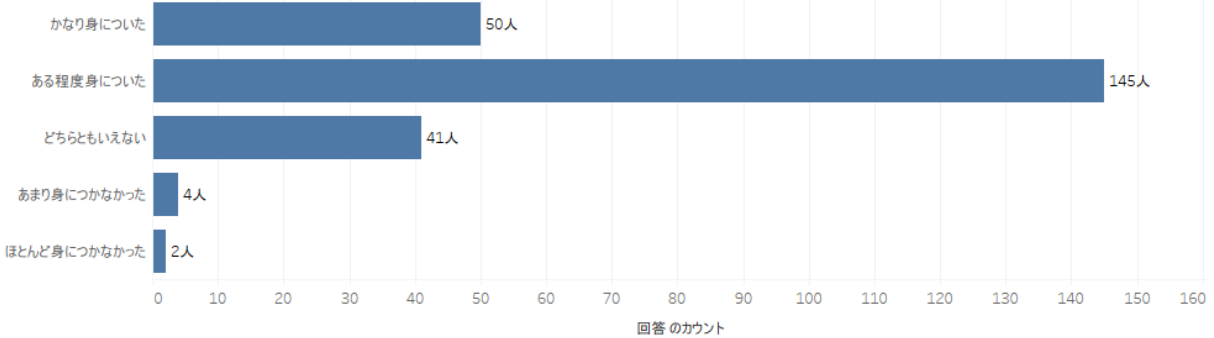
Q15. 他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか。(全学)

他者と協調しながら目..

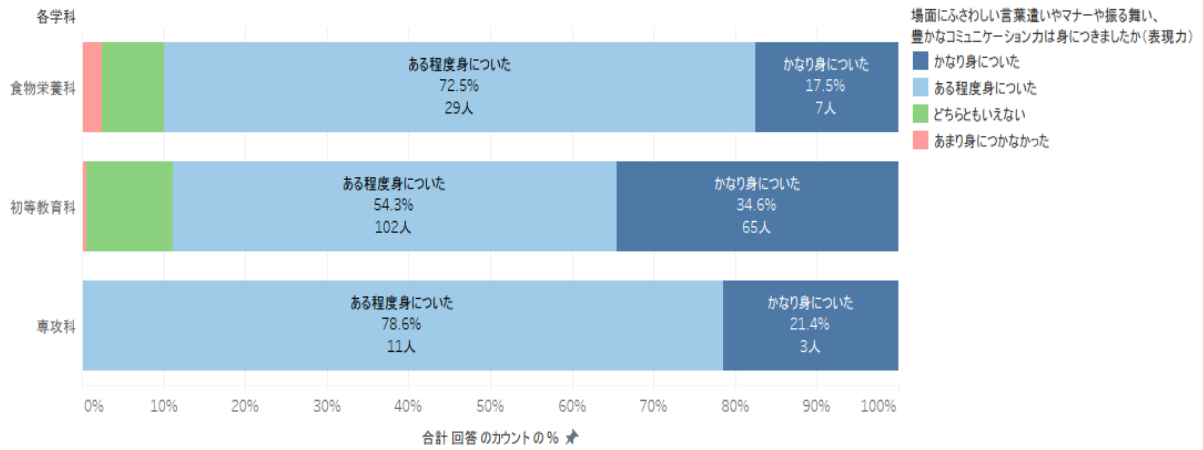
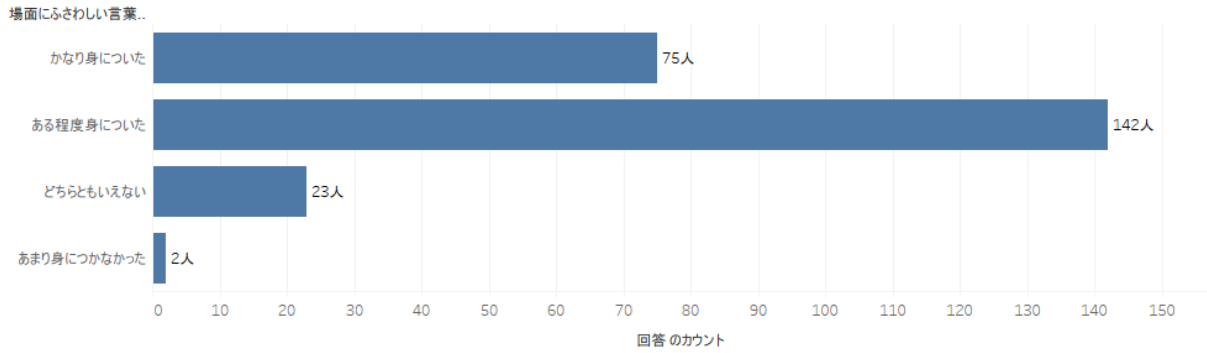


Q16. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。(全学)

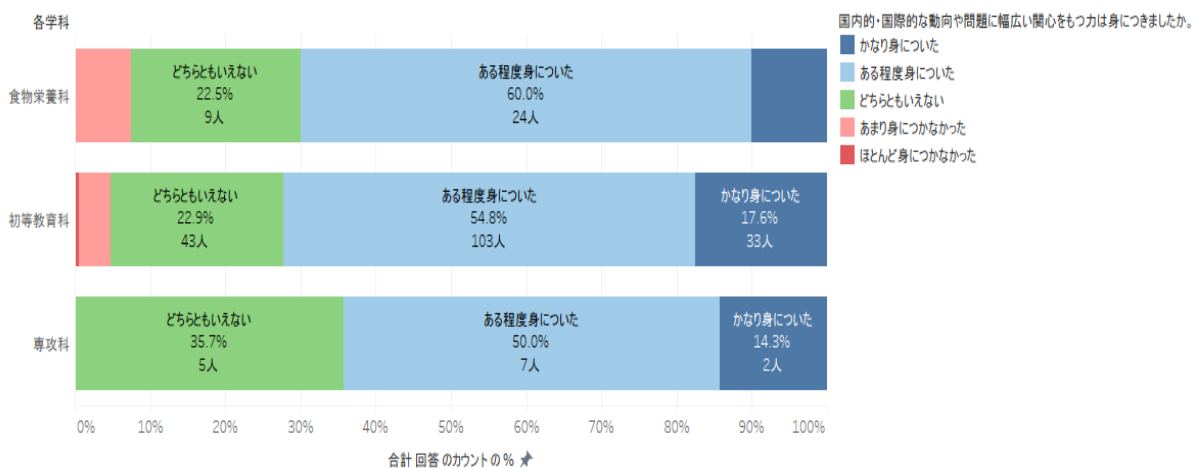
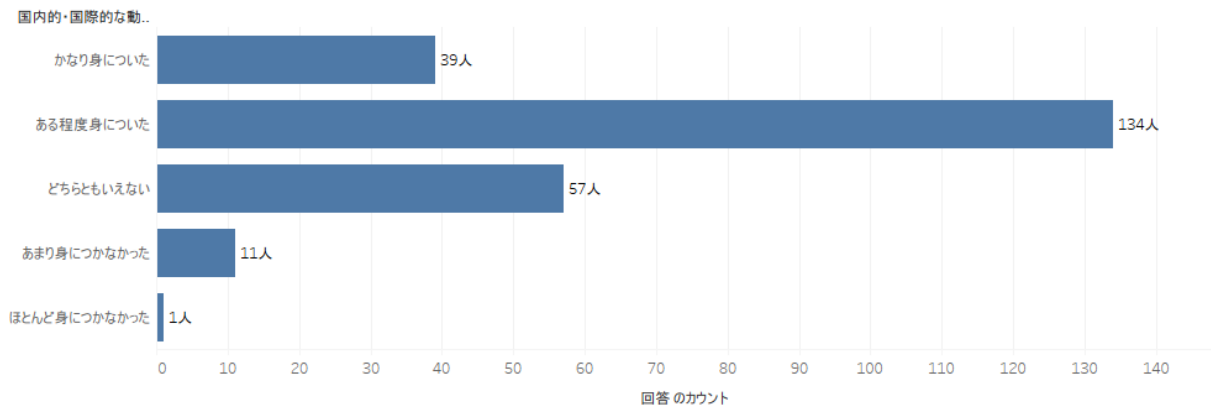
自分の考えを的確かつ..



Q17. 場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。(全学)

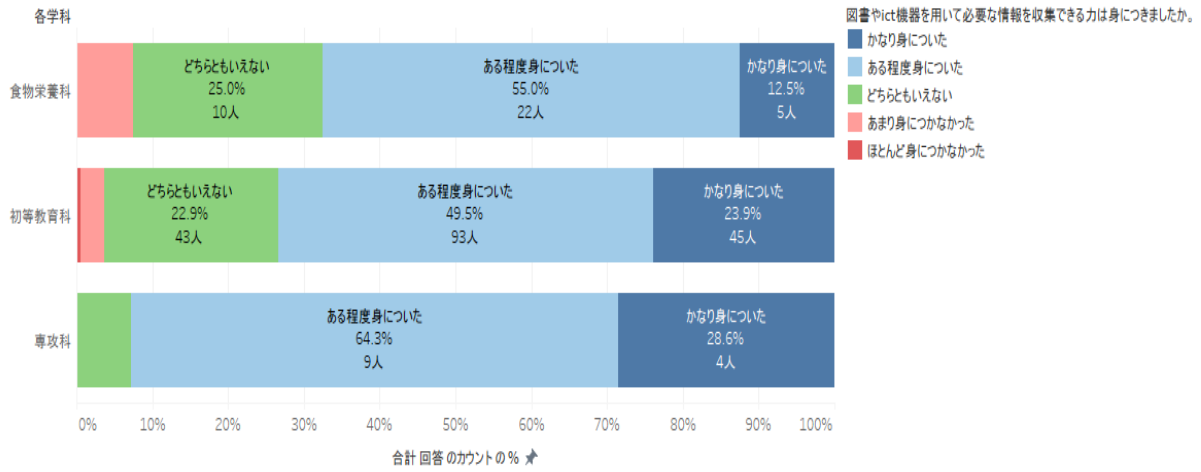
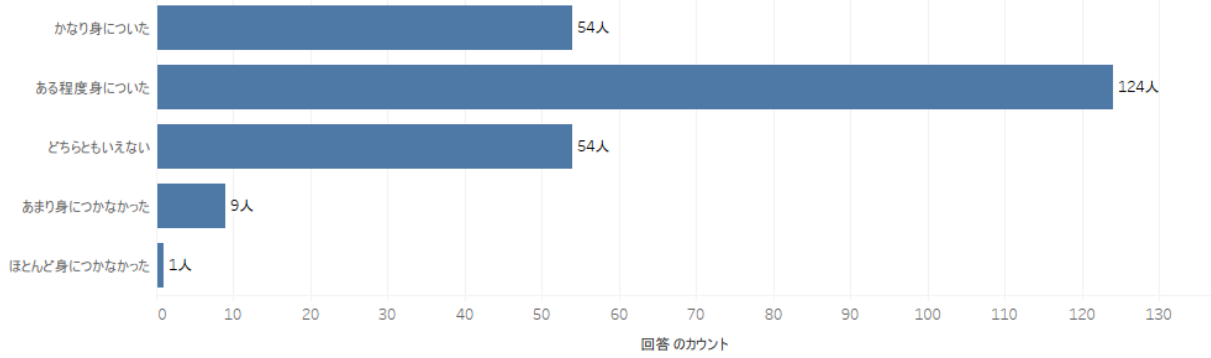


Q18. 国内的・国際的な動向や問題に幅広い関心をもつ力は身につきましたか。(全学)

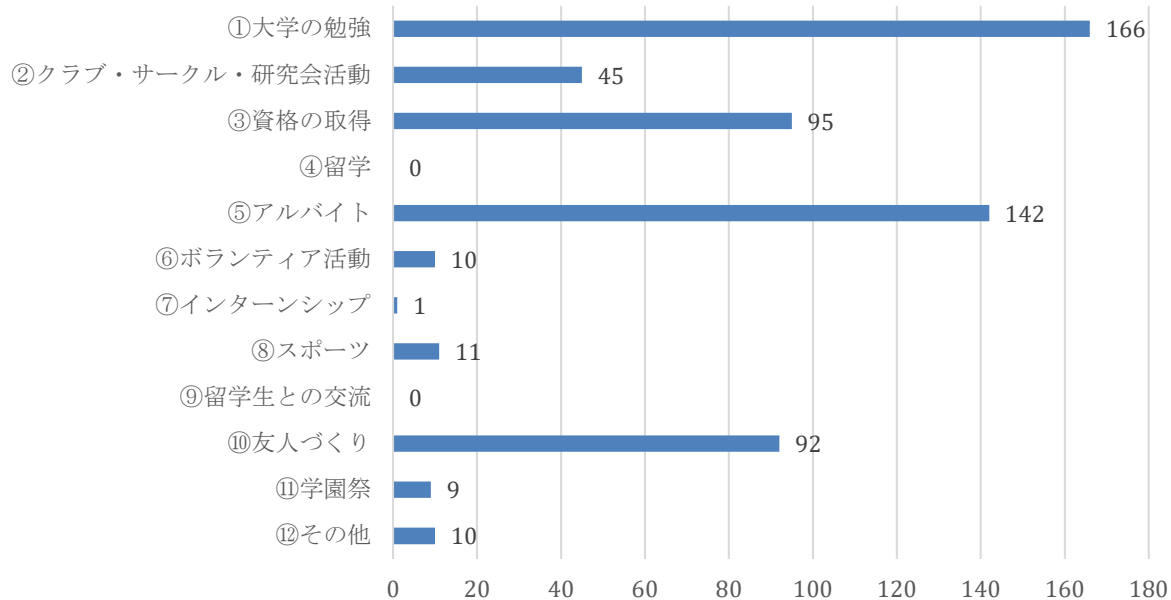


Q19. 図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか。(全学)

図書やict機器を用い..



在学中に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）（全学）



	食物栄養科	初等教育科	専攻科	
①大学の勉強	30	126		10
②クラブ・サークル・研究会活動	13	28		4
③資格の取得	17	74		4
④留学	0	0		0
⑤アルバイト	21	115		6
⑥ボランティア活動	2	8		0
⑦インターンシップ	0	1		0
⑧スポーツ	0	9		2
⑨留学生との交流	0	0		0
⑩友人づくり	15	74		3
⑪学園祭	0	8		1
⑫その他	2	7		1

上の設問で「⑫その他」を選択された方は、どのようなものですか？記入ください。

- ・ 自炊
- ・ 就職試験（公務員試験）の勉強
- ・ 実習
- ・ 教員採用試験合格に向けての勉強
- ・ 独学（就職に関するもの）
- ・ 教員採用試験取得に向けての勉強会
- ・ 筋力トレーニングで心身共に健康でいられるように取り組んできた事。
- ・ 委員会活動
- ・ 就活

あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）

食物栄養科

- ・ アルバイト、新しい人との出会い、周りの人と協力して何かを行う時
- ・ 日頃食べる食事なども栄養面を考えて摂るようになった
- ・ お弁当コンテストで、県庁でプレゼンしたこと
- ・ 人とのコミュニケーション、積極的な行動
- ・ 深く学ぶ事の大切さ、面白さを知り得た事
- ・ 調理技術が向上した！
- ・ 人とのコミュニケーション
- ・ 高校生までの自分は義務的に勉学に励んでいましたが、大学生になってからは学びたいこと、覚えたいことを自分自ら探して勉学ができたと思います。資格取得のため人一倍授業を受けて、実習に行かせていただき、これまで挑戦できなかった事、新しいことに取り組めたと思います！友人たちのおかげで大学生活でたくさんのことに取り組みました。
- ・ 研究会の発表をした
- ・ 私は教諭免許を取得するため、教育実習を3週間行いました。毎日忙しく大変でしたが生徒や先生方のおかげで、大きく成長できた3週間になったと思います。卒業後にもこの経験を活かすことができると思います。
- ・ 自分でどうするか何に興味があったかを考えながら判断する力と間違えることは良いことだと思えるようになった事です。この短大生活で社会に役立つ能力が一つや二つ身に付いた感じがします。
- ・ 大量調理や2年生での実習期間
- ・ 中学校へ教育実習に行ったり、研究会活動で色々な経験、人との関わり合いを経たことで今までの自分よりもさらに成長できた。
- ・ 教育実習が大きい。人前に立って話すこと、自分の意見を発言することが苦手だったが、受け入れ、自分の発揮できる力を認めてもらえたことで、自分に自信がついたし、成長を感じられた経験だった。また、様々なことに挑戦することで、自分の得意不得意を見つけられたり、みんなを取りまとめる大変さや楽しさなどを学んだりすることができた。
- ・ 積極的に行動する
- ・ 調理実習で班で協力して、教え合いながら作ることが出来た。また、自分から率先して動くことが大切だと気づいた。郊外実習では、普段学校では習うことが出来ないことを学ぶことができた。
- ・ 調理の技術や大量調理、周りを見て自分が何をすべきなのか見つけることができるようになった。
- ・ すべての授業を真剣に受けることができました。
- ・ コミュニケーション力、人の話を聞くこと
- ・ 少し冷静になった
- ・ 周囲の人と協力して物事をやり遂げること。
- ・ 研究会に所属し、1つのことを追求してどんなことをしたらいい物ができるのかやどこが改善すべき点なのかなど追求心のようなものが高まったと思います。

- ・ たくさんの調理実習とコミュニケーションの場があったので社交性が身についたと思う。

初等教育科

- ・ 今までの学校生活よりもさらに幅広い地域や考えの人と交流を持つことで自分の考えや世界が広がった。またその中で自分の中で譲れないものだったり、強みを理解することができた。
- ・ 専門的な知識が身についた
- ・ 高校までとは違った、経験を糧に活動する環境のもと、奉仕活動や経験活動に勤しむことができた。
- ・ 友達がいなくても1人で色々な物事を成し遂げることができた。(依存しなくなった)
- ・ 以前に比べて色々な事に自分から取り組む積極性を手に入れることができた。
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 自分から動こうという気持ちを持って行動できた
- ・ 自分に自信を持って、人と関わることが出来るようになった。
- ・ 発表したりすること
- ・ 一年生の実習での反省を踏まえて2年生では年齢や季節に応じた絵本を自分で選んだり、ペープサートを作ったりと事前準備をしっかりとするようになった。
- ・ 学校の授業や実習などを通して、自分に必要なものは何かを考えることを常にすることができた。
- ・ グループワークや発表などで、ハキハキと自分の意見を言えるようになったなと感じます
- ・ 今まで人と話すことが苦手だったけど大学の友達ができ、自分なりに考えも話せるようになり別府大学に行ってよかったなと思いました。
- ・ サークルで、先輩との交流関係を築けた。進路のことに詳しくなった。
- ・ 人間関係について関わり方を学ぶことが出来た。
- ・ 実習をやり遂げたこと
- ・ 一人暮らしとアルバイトと学校の両立
- ・ 相手のことを思いやる大切さを学ぶことができた
- ・ 実習で経験を積んだ時。
- ・ 実習や授業内のグループ活動、研究会活動。
- ・ 保育の知識をつけることができた
- ・ お金を稼ぐ大変さに気付くことができたこと。
- ・ 計画性
- ・ 課題や授業に関することの自己管理
- ・ 実習にて部分実習を無事に終わらせることが出来たこと。
- ・ 色々な経験を通して人間関係や社会で生きていく力など成長できた。
- ・ 保育実習や教育実習
- ・ 授業で発表が多かったのも、人の前で話すことが前より堂々とできるようになった。
- ・ 実習で諦めずにやり遂げた

- ・ 1人で生活する力
- ・ 人見知りせずコミュニケーションを取ることで。
- ・ 周りの人と協力する力、コミュニケーションをとって周りの人と問題解決をする力
- ・ 教採の勉強をしている時、成長できたと感じました。
- ・ 私が成長できた部分は、心の広さなのではないのかなと思います。気にしてしまうことは多いものの、自分の出来ることに一生懸命に取り組み周りの人と協力して活動に取り組むことが出来ました。
- ・ 周囲とのコミュニケーション
- ・ 自分の意見を堂々と言えるようになりました。グループやクラスでの活動の時に、まわりの雰囲気がとてもよくて、自信をもって発言することができました。
- ・ リーダーになって行動できるようになった
- ・ 自分のなりたい事についての勉強する気持ちが、学校生活を通してより強くなり、成長できたとと思う。
- ・ 実習でいろんな子供や保育者と出会い、コミュニケーションを取ったり、日誌を通して文章に触れたりできた
- ・ 人間関係
- ・ 人との関わりがふえたこと
- ・ 保育士、幼稚園教諭になるための知識を授業や実習で身につけることができた。
- ・ 研究会活動を通して、子どもとふれあいながら、どのように英語を楽しく教えることができるのかということを考えながら活動することで、楽しみながら教える、その教科にふれあう方法を学ぶことが出来た。
- ・ 私は人とコミュニケーションを取るのが苦手で、自分が教師を目指して良いのかという不安のまま入学しました。大学に入ってからには周りの人と積極的にコミュニケーションをとったり、授業の班活動などで積極的にリーダーシップをとることで人と話すのが得意になったと感じています。教師になってからは大学に入ってから成長をいかし努力していきたいなと思います。
- ・ 人見知りで自分から話しかけに行くことがなかったが、大学に入って自分から話しかけに行く機会が増えた。
- ・ 自信を持って保育者になるための勉強が出来たと言えることが成長できたことだと思います。短大に入ったことで勉強する事の楽しさを知りました。
- ・ 朝自分で起きれるようになった
- ・ 提出物を守ること
- ・ 大学入学前は人前に出るのが苦手な人と話すのも苦手だった。正直小学校教諭に自分は向いてないのではという不安を抱え大学に入学した。しかし大学の授業の中で人と触れ合うことや発表の機会が多くあり、緊張は毎回するが、人前に立つことができるようになった。人前に出ることの怖さが完全に克服できたわけではないが、教員採用試験合格に向けて、模擬授業の練習を何度も重ね、無事教員採用試験に合格することもでき、大きく成長できたとと思う。また、高校時代のトラウマで男子と話すのが入学当初は怖かったが、実際に関わってみるとAクラスの男子はみんな優しく、男子と関わることへの苦手意識をほとんどなくす事ができた。
- ・ 研究会の活動を通して、主体性、協調性がさらに身についた。

- ・ 自分から積極的に動くことが苦手でしたが友人からの後押しもあり、発言を出来るようになったことです。
- ・ ウィンターフェスティバルで、ダンスの練習をして、友達とのコミュニケーションを撮ること、協調性が少し身についたと思った。
- ・ 話の聞き方、話し方
- ・ 一年生の時は人と関わるのが怖くてあまり心を開けていませんでしたが、授業のグループワークを通して碎けて話すことができるようになりました。また、グループで活動するとき役割分担を提案したり役割を全うできるようになったりしました。
- ・ 実習などを通して、専門性をより高めること、社会人としての意識、保育者になるにあたって責任を持つことなど、精神的にも成長できた。
- ・ 実習などで、自分の課題について真剣に向き合うようになったこと。
- ・ コミュニケーション能力が向上した。人前で何かを発表することに対して前向きになれた。
- ・ 保育者としての自覚ができたなど感じる。入学当初は自覚がなかったが、実習などを通して1人の保育者としての自覚、責任感ができたと感じる。
- ・ 色んな場面において自立することができた。
- ・ 幼稚園での部分実習です。初めて1人で製作をしたので戸惑ってしまうかなと思ったけど、先生方にも少し助けてもらいながらすごくよい部分実習になりました。子どもの発言、行動に臨機応変に対応することができました。
- ・ グループで発表する授業などで友達と協力して考えたり、話し合いをすることができた。
- ・ 看護の方から来てくださった先生や外部かの講師の方からもお話を聞いて、見え方が深まりました。アルバイトでは、様々な方と関わる中で、多様性、関わり方を学んだり、きつくても続けることで継続の力がついたと思っています。
- ・ 人見知りや消極的な性格が、実習などを通して自分からコミュニケーションを取りに行けたり、諦めずに取り組むようになった。
- ・ 自ら保育について学び、積極的に多くの人と関わるようにすることにより、様々な人の気持ちを察して行動できるようになったと思います。
- ・ 実習では保育の経験もですが社会的な意味でも精神的にも成長できたと思います
- ・ 子どもへの理解
- ・ 考えて動くこと、友達に頼りすぎず自分でも発言すること
- ・ 模擬保育や班活動を通して、他者を認め、受け入れ、協調する部分が成長できた。
- ・ 勉強に集中すること、効率よく勉強すること
- ・ 専門知識の獲得
- ・ 様々な人の意見を聞きながら自分の意見も踏まえより良いものができるように考えることができるようになったところ。(模擬保育)
- ・ 研究会でのボランティア活動への参加や教育実習を通して、様々な経験をすることができ成長できたと思います。
- ・ 実習
- ・ 実習で諦めそうになったけれど最後までやり遂げたこと。
- ・ 実習でより子どもへの理解を深めることができた。

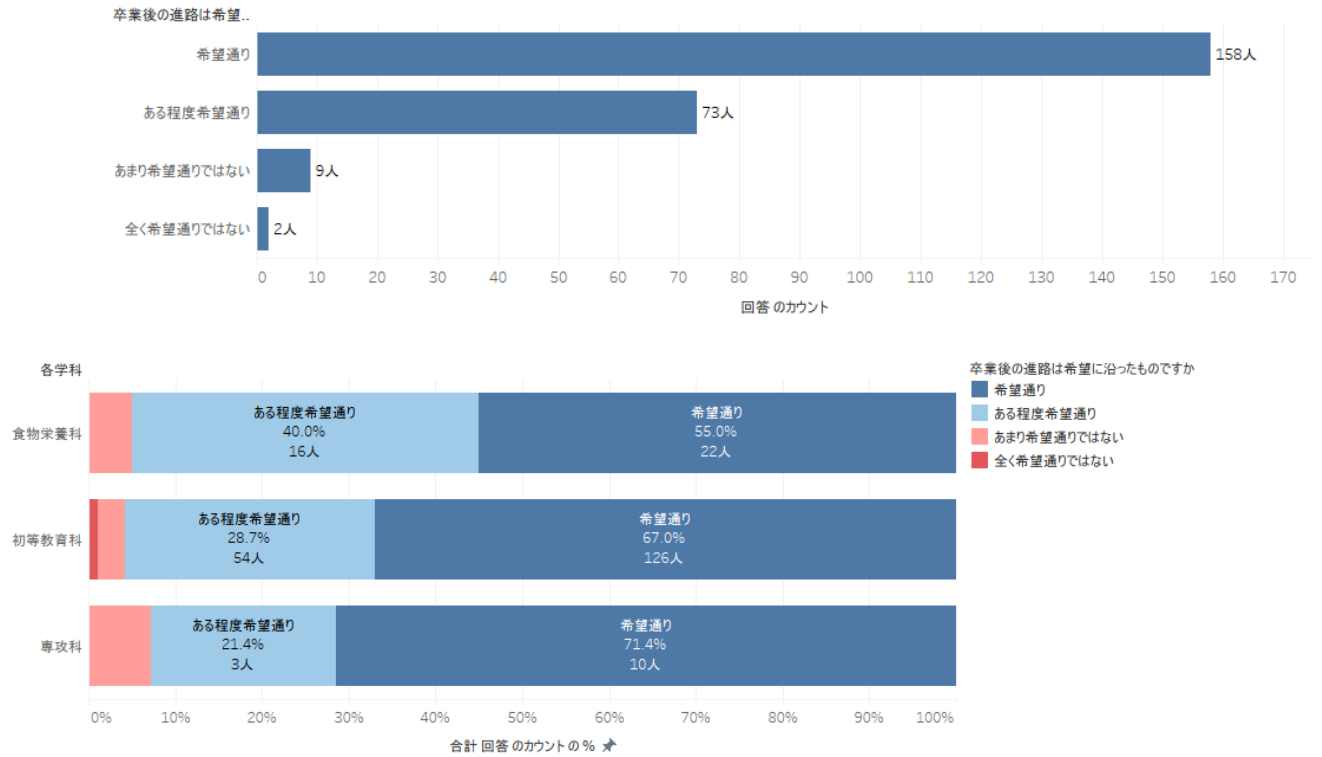
- ・ 自分の考えを進んで伝えることができるようになったこと。
- ・ 保育関係の専門的な知識・実践的な技術が身についた。
- ・ 協調性が成長したと思う
- ・ 保育について学ぶこと
- ・ 創作などでの表現する力が伸びたと思う。構図だけでなく素材や組み合わせなども考えるようになり、表現の幅がより広がった。
- ・ 周りとは協力して授業を作りました。
- ・ 保育実習で積極的に行動できるようになった。
- ・ 実習を通して現場の保育者の姿
- ・ アルバイトを経験して人との関わり方などを学んで成長できた
- ・ 実習で子供との関わり方や他者とのコミュニケーションのとりかた。
- ・ 保育園や幼稚園等の実習の中で積極的に動くことやコミュニケーションの大切さ、保育者としてのあるべき姿を学ぶことができた。
- ・ グループワークのさいなどに他者と協力して課題の解決に取り組めたことや、他者の意見を聞いた上で自分の意見の改善に授業ないで努められたこと。さらに、授業で習った専門的な知識を小テストや15回が終わったあとのテストなどでしっかりアウトプットできたとき
- ・ 人間関係の均衡を保つこと
- ・ お金や資料の管理を自分でする力がついた。
- ・ 学ぶ力
- ・ 研究会で活動することにより、人前に立つこと計画することを経験できた。
- ・ 実習を通してこどもとの関わり方が成長できた。
- ・ 身の回りのことができるようになった
- ・ 実習を通して、学校では学べない子どもの成長や、面白さを知ることが出来た。
- ・ 学校に進んで行くようになった
- ・ 社会に出ていく上での社会性等を学ぶことが出来た。
- ・ 深く追求すること
- ・ 社会人マナー
- ・ 責任を持って行動することを実習で学びました。
- ・ 人前で大きな声で発表することができるようになった。
- ・ 様々な年齢との関わりでコミュニケーションが成長できた

専攻科初等教育専攻

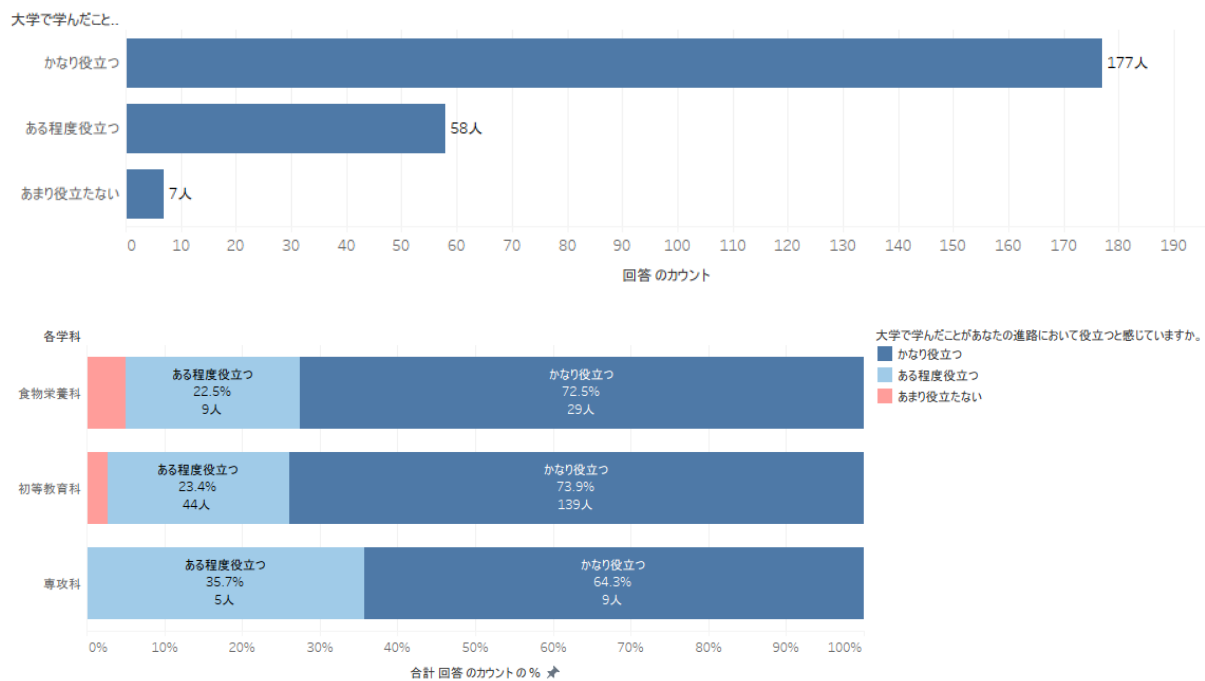
- ・ 教育実習で子どもと関わる中で指導の難しさや意義等に触れることができ、これからの仕事に活かせられるような知識が身についた点です。また他者との関わりが学部内で多かったのでコミュニケーション力も身についたと感じます。
- ・ 実習等で授業ができるようになった
- ・ 教員になるための知識や実習での経験から自信を持つことが出来たから
- ・ 実習などの経験から将来を見据えることができた。
- ・ 教育実習や研究会を通したボランティア活動での経験。
- ・ 落ち着いた。

- ・ 実習を何度か経験し、自分の良い面や課題が明確になり、それに気づくことができたこと。
- ・ 専門教科について
- ・ 教育マイスター研修
- ・ 子どもにとって何が必要なことなのか、どんな子どもを育てることを目的に日々の保育や教育を行って行くのか実習から学ぶことができた。

卒業後の進路は希望に沿ったものですか。(全学)



大学で学んだことが進路において役立つと感じていますか。(全学)



大学に期待すること（自由記述）

食物栄養科

- ・ 専門分野を学べる
- ・ 学生の未来に寄り添ってくれること。

初等教育科

- ・ 色んな人との交流、自由
- ・ 充実した設備
- ・ 食堂のメニューのレパートリーを増やす
- ・ 地域との交流がもっと増えたらいいなと思う。
- ・ 学食値下げ
- ・ もう少し購買などをする事
- ・ 短大は4大など他の科との関わりがほぼない為、どの科も関われる機会が欲しい。
- ・ これから入ってくる学生に私たちよりいい学びができるんじゃないかと思ってます
- ・ 幅広い就職支援
- ・ 負担なく学習できること
- ・ 就職がとてもしやすかったです。
- ・ 駐車場欲しい
- ・ 自立できるようになる
- ・ これからもみんな楽しく学べたらいいなと思います。
- ・ 大学に来て学びたい分野を学び、知識を深めることが出来たのでここで素敵な先生方に支えられながら学ぶことが出来ました。
- ・ 資格が取れる
- ・ 全ての棟にエレベーターが欲しい
- ・ 期待は無い
- ・ 卒業後、必要がある場合のサポート
- ・ バリアフリー設備を整えること。
- ・ 楽しい時間を過ごす。
- ・ カリキュラム
- ・ 一人暮らしの学生への支援をもっとしてくれたら嬉しいです。実習中の定期についての説明を実習の授業でしてほしい。
- ・ 授業の間の空きコマを減らして欲しい(例一限を受けて5限を受けるまで講義がない等)
- ・ 専門科目が学べる環境
- ・ 生活支援
- ・ 学びやすい環境
- ・ すべての建物へのエレベーター完備
- ・ Moodleやパソコン関係の使いにくさを少し改められたら後輩も勉強に励みやすくなると思う。
- ・ 学食
- ・ クーポン
- ・ 資格取得

- ・ 駐車場の拡大
- ・ 学び
- ・ 友達いっぱいできる
- ・ 先生が親身になって話を聞いてくれること。
- ・ 進路の相談
- ・ 資格がとれる

専攻科初等教育専攻

- ・ 修論発表の仕方
- ・ 学内の広さ、修論発表の時間の長さ
- ・ 無料学生駐車場を作って欲しい。
- ・ 素晴らしい教育者が生まれることを期待してます。
- ・ 図書館の漫画がなぜなくなったのか。復活させてほしい。といってももう卒業するのでどちらでも良いと今は思っている。クーポン券は学食で消費しようと思っていたのに、使える期間そして時間が短くて、オーマイゴッツだった。クーポン券が余らないような施策を期待する。といってももう卒業するのでどちらでも良いと今は思っている。

卒業する学科に期待すること（自由記述）

食物栄養科

- ・ 意欲のある、委託訓練生が学ぶチャンスがたくさん与えていただきたいです。
- ・ 調理をもう少し力を入れた方が卒業した後に楽になるかもしれない
- ・ 食物栄養科の魅力を、もっとみんなに知って欲しい。
- ・ 沢山の人の入ってほしい
- ・ これからも調理のできる栄養士をたくさん輩出して欲しいです。
- ・ 学生のこれからは寄り添い一緒になって考えてくれること。

初等教育科

- ・ さらにグループワークで制作する機会を増やして欲しい、またある程度は学生同士が自由にグループを決めた方が力が発揮され、より良い作品が産まれることもあると思う。
- ・ 授業時間の割り当て方、1年生のときは、体調崩すくらいきつかったです。
- ・ 実習より手厚い支援
- ・ 別府以外の小学校実習にもいけるようになったらいいなと思う。
- ・ 実習中図書館の絵本にとってもお世話になったのでこれからももっと絵本コーナーを充実させて行ってほしい。ベストセラーはたくさんあるけど最新の絵本はないためどんどん新しい絵本も入荷してほしい。
- ・ 教職員、保育者の育成
- ・ 後輩と先輩が仲良くなれたらいいなと思います。
- ・ この学科では、先生方がとても優しく授業にも頑張って取り組むことが出来たと思います。これらの授業で学んだことを現場で活かせるように頑張っていきたいです。

- ・ 資格が取れること
- ・ 子供を愛す保育者を育成し続けてほしい
- ・ 期待は無い
- ・ 授業での指導案作りは1人でさせてほしい。
- ・ たくさんの保育士、幼稚園教諭、教師の人材育成
- ・ 演習、実際の現場を想定した授業を多く取り入れること。
- ・ いい保育者を育てることです。
- ・ 良い保育士の育成
- ・ 学習指導案の作成を個々でやらせて欲しい。(班でやるとサボる人が出てくるため)
- ・ これからも現場の先生方の意見がたくさん聞ける学科であってほしい。
- ・ 実践授業
- ・ 卒業後の労働支援
- ・ 良い保育者を育てること
- ・ 今まで通り実習や演習など実践的なことに力を入れて指導してほしい。
- ・ 2年次の実習中の分の補習課題の期間を延長したらいいと思いました。
- ・ 親身になってくれること。
- ・ これからも良い保育者となる後輩を育ててほしいです。
- ・ たくさんの保育者を輩出すること。
- ・ 短大で行うウィンターフェスティバルについて、今年度は当日の機器トラブルやスケジュールのことなど、ハプニングも多く慌てる場面もあったためその辺を改善すると学生もより楽しめると思った。
- ・ もっと実用的なことを教えて欲しかった。手遊びなど。
- ・ 2年になって、Aクラスとの授業が増えた時、学んできたことに差があり不安を覚える。3免取っていることが不利になっているような気がしてしまうためそれをどうにかできないかと思う。
- ・ 免許取得
- ・ もう少し先生方仲良くして欲しい
- ・ 子どもと関わることの大変さや、楽しさを伝えて欲しい。
- ・ これからも頑張ってもらいたい
- ・ これからの保育の知識
- ・ 資格がとれる

専攻科初等教育専攻

- ・ 一般企業への就活にむけてのセミナーを組んでほしい。
- ・ 専攻科は少人数で、移動教室も少なくほぼ同じ教室で学んでいたため、短大生のときと比べてると閉鎖的な環境だと多少感じていました。将来的には、移動教室があったり他の学科の人たちや短大の後輩と関わる機会があったりすることが増え、のびのび開放的に学べるようになってほしいと思います。
- ・ 教育についてもっと追求することへの期待。
- ・ 論文発表会は、平日の10時頃から2日くらいに分けて行ってほしい！
- ・ 専門教科について

- ・ もっと現場について知りたい

後輩へのメッセージ（自由記述）

食物栄養科

- ・ 資格取得はきちんと授業を受けていれば取れます。短大という短い2年間の中で学べることは沢山あります。めんどくさいと思いつつも、研究会活動や、ボランティアなど積極的に参加することで、就職に必ず役立ちます。また、いろいろな人と関わることもできるので、様々な考えにふれ、自分自身も成長できます。がんばれば頑張るだけ身につきます。先生達もすごく優しいです。分からない時は先生に頼るのが一番良いと思います。自分のやりたいことをとことんやってください。その時にしか出来ないことがたくさんあります。学生というものを謳歌してください。
- ・ 授業や課題など大変だと思う事も多々あると思いますが、頑張ってください
- ・ 程々に頑張れ！
- ・ 一年生の時からある程度進路を考え、早い段階で就活を進めると焦らずに自分の行きたかった場所に行ける可能性が高くなります。ぜひ、勉学を頑張るとともに将来のビジョンを見出してみてください！！
- ・ 学生レストランおいしかったです。
- ・ 2年間はあっという間なので大学での1日1日を有意義に過ごしてたくさん思い出を作ってください！
- ・ 何もしなくても卒業はできますが、何かしら行動をした方がとても思い出に残る大学生活になると思います。今はめんどくさいと思うかもしれませんが、後になって後悔することばかりです笑皆さんはそんなことがないように全力で色々なことにチャレンジしてみてください
- ・ 「今」を楽しんでください。
- ・ 大変なこともあると思いますが、がんばってください！
- ・ 就職は求人が年々減ってきていると聞いたので、早めに就職活動を始めると良いと思います。
- ・ 2年間はあっという間です。授業を真剣に受けると楽しさが分かるかもしれません。
- ・ 実習が多くて大変ですが頑張ってください！！
- ・ 自分がどうありたいか、どうなりたいかを常日頃から考えながら行動を選んでいくといいと思う。

初等教育科

- ・ 実習や課題など、辛いことはたくさんあると思いますが頑張って下さい。今も頑張っていると思いますが、本当に全員もれなく偉いので、自分のことをダメなんて思っちゃダメです！課題も出席もダメダメでしたが長年の夢を叶えることはできました。大丈夫です！
- ・ 就職は先生方がすごくサポートして下さいます。頑張ってください
- ・ 学校とバイトを両立して最高で最後の学生生活を楽しんで欲しい。
- ・ 頑張って！

- ・ 小学校での本実習は、1年次の観察実習とはレベルが桁違いです。その分、2年次は小学校教員にとって必要な資質・能力が育まれるような教科がとて多いのです。心が折れそうになる時もあると思いますが、それも貴重な財産となるので心に留めておきましょう。
- ・ 将来に向けて様々な勉学に取り組むと共に、たくさん楽しい思い出を作ってください。一生の財産になります。
- ・ 授業はキツくなったら程々に休むべし
- ・ 進路は焦らずゆっくり決めてってください。
- ・ 短大の2年間はあっという間で実習ではきついことも楽しいこともたくさんあると思うけど、子どもたちの笑顔を見るととても元気をもらえるので明るく優しくがんばってください！あとは大学生活でたくさん写真や動画をとって遊ぶ時は遊び、息抜きも楽しんで毎日を過ごしてください！！
- ・ 辛いこともたくさんあるけど努力すれば大丈夫です。
- ・ 小学校教諭の学習はとっても大変なので早め早めに取り組んで頑張ってください。
- ・ 早めに自分のしたいことを見つけるべき
- ・ 頑張ってください
- ・ 頑張ってください！
- ・ 頑張れ
- ・ 頑張ってください
- ・ 頑張ってください。
- ・ サークル入った方がいいです。
- ・ 周りの人と、協力して問題解決をしたり活動をしたりコミュニケーションをしっかりってほしい。今のうちに色々なことを経験してほしい。必ず自分の力になります。
- ・ 後輩の皆さんへ授業が詰まっていることが多く、それぞれの授業で課題が出る事かと思えます。しかし、頑張って取り組み、理解を深めることで幅広い知識に繋がるのであともう踏ん張り頑張ってください。
- ・ 出席足りてればなんとかなるさあ
- ・ 実習大変だと思いますががんばってください！
- ・ 1年生の時から車校に行ったりバイトガチ勢になったりしてた方がいい
- ・ 頑張ってください
- ・ 別府大学短期大学部初等教育科の先生方は、現場での経験がある先生ばかりです。自分の希望する進路を実現するための場所として最適だと思います。頑張ってください。
- ・ 学校での学習で満足しないでください。自身の気になった分野をプラスαで勉強した人が他の人よりも優秀になれます。
- ・ 実習など、つらいこともあります頑張ってください。
- ・ 頑張ってください。
- ・ 2年間は短いです。自分にとって学べたと思うことをひとつでも作れたらいいと思います。
- ・ 実習は大変だけど頑張ってください。
- ・ できることを全力で！

- ・ 後輩の皆さんへ初等教育科は、質の高い仲間、先生、授業等、自分の夢や目標を達成するために必要なあらゆる条件が揃っています。しかし、それはあくまで環境でありその環境下で自分が夢や目標に向かって行動しなければ意味がありません。主体的に考え、行動し、充実した日々を送ってほしいです！自分も専攻科に進学し、小学校教員を目指すので一緒に頑張りましょう！
- ・ 初等教育科では、保育のことはもちろん、調理実習をしたり、体育でバレーボールをして、友達と仲良くできるので、とてもたのしい時間が過ごせるので、学生生活を楽しんでもらえたらなと思いました。
- ・ 実際に保育士経験者の先生達もいるためすごく勉強になりました
- ・ 短大は短いですがやれることは沢山あります！精一杯楽しんでね！
- ・ 2年間はあっという間なので、自分のやりたいこと、進路をしっかりと考えながらも楽しんで素敵な大学生活を送ってください！！
- ・ 実習や模擬保育など、実際に保育を体験できる場を大切に、専門的な知識や技術を身につけてください。大学での日頃からのたくさんの経験が将来活かされること間違いなし！
- ・ 就職活動が大変だともいますが、焦らず自分のやりたい仕事ができる場所を選んで下さい。
- ・ 日々学校やアルバイト、家庭での生活、沢山大変なことがあると思いますが、仕事に着く前に思いっきり楽しんで貰えたらな、と思います。ぜひ友だちと沢山関わってください！
- ・ 子どもや保護者に寄り添った保育ができるように、学習を怠らないようにしてください。
- ・ 学生生活はとっても楽しいものでとっても難しいものでした。後悔のないように自分らしく楽しんでください。
- ・ 夢に向かって頑張ってください
- ・ 一つひとつを丁寧に行うことが、その先に繋がって行くと思います。
- ・ 忙しいし辛いけどなんとかあります。頑張ってください。
- ・ 大学生のうちにやれることをたくさんやって楽しんで欲しい！
- ・ 初等教育科の後輩の皆さんへ、自分の夢や目標に向かって努力をし続けることが1番です。実習や課題に追われることもあります、いずれ自分の力に自信になると思います。だから頑張ってください！
- ・ 実習とかでキツイことたくさんあるかもしれないけれど頑張ってください。
- ・ 無事就職が決まるよう頑張ってください
- ・ 実習など大変なこともあると思いますが、自分らしく無理しすぎず頑張ってください！そして学生生活を思いっきり楽しんでください！
- ・ 頑張ってください。
- ・ 初等教育科はとっても楽しい学科です。自分の夢に向かって頑張ってください。求人も多いため就職は安心です。
- ・ 学校からのメールに関しても、授業内容の改善に関しても、自分から聞いたり動いたりしてください。
- ・ 実習頑張れ

- ・ 確実に自分の力になる
- ・ ある程度力を抜きながら頑張ってください。
- ・ 保育士という仕事は大変なことです、その分楽しいことも多いので頑張ってもらいたい。
- ・ たくさん今のうちに学んでおく
- ・ 勉強とバイトと遊びの両立は難しいと思うけど、頑張ってください！
- ・ 勉強を頑張りながら、学生生活も楽しんでください。
- ・ 頑張ってください

専攻科初等教育専攻

- ・ マイスター研修と修論大変だけど頑張ってください
- ・ 頑張ってください
- ・ ファイト！
- ・ マスクをつけてそれなりに頑張ろう！あと、用務員さんと守衛さんには愛想良くしよう！
- ・ 授業と保育園や幼稚園、小学校の実習で大変だと思うことがたくさんあるけれど、その経験からたくさんの学びを得ることができます。授業で学んだことや実習で経験したことは決して無駄になりません。たくさんのことを経験して、学んで楽しい学生生活を送ってください。